

H26年度 行政改革大綱後期行動計画 取組状況評価 各委員意見

[評価全般(総括)に対する意見]

・取組状況区分の評価と総合評価のずれがわかりづらい。数値目標にどこまで依拠して総合評価を行うのかについては再考した方がよいかもしれない。数値目標が重要な取組と重要でない取組の峻別を図ってみてはどうか。(森委員長)

・行政改革大綱の現在の推進期間(平成24年度から平成28年)での後期行政計画に掲げられた取組項目(21項目)の進捗状況について、毎年度の取組項目ごとに目標の達成状況・効果を検証することが、実際の行政改革にどのようにつながるかを、今以上に意識されることが必要だと思えます。21項目の個々の評価とそれに基づく行政改革の行動が今後どのように具体的に示されるかを明確に示すことが最も重要でしょうが、加えて、次のようなことにも注意するといいいのではないのでしょうか。今までの行政改革への積み重ねから、後期アクションプランの体系の取組方針や取組項目は整理されていますが、取組方針のI市民との信頼関係に基づいたまちづくりの推進、II経営的視点に基づいた効率的な行政サービスの提供、III自立した自治体への変革、の3種類のカテゴリー自体の進捗の評価結果も明確に示すといいいかもしれません。そこでは、各カテゴリーの取り組み項目の重点と推進の区分がそれでいいのかも検討されるといいでしょう。それによって、評価から改革への流れがより詳細に示せるかもしれません。(松岡副委員長)

・前期の取り組みを踏襲しているものについて、評価が低いままのものや、低下したものについては、その理由を明確にし、取り組み内容に不備はなかったのか、目標設定が適切であるのか等検証する必要がある。(藤堂委員)

・各項目の目標設定ですが、何を根拠に設定しているか不明により評価できません。テストで毎回50点の子が60点取ってくれば、10点上がったと評価できますが、平均点が70点だったら10点低いと評価が下がります。見る視点が異なれば評価も自ずと変わります。例えば、生駒市と規模の似た市と比較して目標を設定するとか、全国の市で前年度何番目だったが今年は10位ランクを上げたとかの結果が提示されないと評価することが難しいです。また各評価の評価は、その項目の何らかの知識もしくは興味を持った人でないとこれまた難しいと思います。(塚原委員)

・重点項目でありながら総合評価がDとなっているものが1件あるが、その原因について検証を行っていただきたい。(下野委員)

・全体的に改革に向けて積極的な取り組み姿勢が感じられます。定量的な目標設定は適切なのでしょうか(一柳委員)

H26年度 行政改革大綱後期行動計画 取組状況評価 各委員意見

I 市民との信頼関係に基づいたまちづくりの推進			
1 情報提供・情報共有の充実			
(1) 行政運営の状況の分かりやすい情報提供・効果的な情報共有【重点】			
	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	B		
評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・生駒市の住環境の良さを活かした定住促進などの取り組みが順調に進められている。(森委員長) ・様々な方面でシティプロモーションを推進していることは評価できる。(藤堂委員) ・本市の子育て環境の充実ぶり(魅力)を市内外の子育て世代に伝えることに成功されたように思われる。(下野委員) ・市のHPはうまく分類されていて情報が検索しやすい。(一柳委員) 		
今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・議会報の具体的な改善点はどのような点なのかを明示すべきである。(森委員長) ・読みやすい議会報の発行や、市議会ホームページの更新について、あまり具体的な成果が見られないように思える。議会報については、市広報紙担当者とも連携して改善を案を考えてはどうか。(藤堂委員) ・インターネットでの情報提供は現在では当然のことと思いますが、この項目において誰に向けての内容かは判別できません。一般市民に向けてと仮定するなら、市民の何パーセントがインターネットを利用しているのか。また、リピーターはどれほどか分からなければ評価のしようがありません。(塚原委員) ・定住促進バスツアーへの応募者の追跡(定住に至った、再度バスツアーに申し込んだ、他市へ定住した、等)を行っていただきたい。定員を設けないといけないのかとの疑問がある。市HPについては、トップページへのアクセス件数だけでなく、目的ページへのアクセス件数の把握は無理なのでどうか。(下野委員) 		
(2) 情報共有の充実に向けたツールの活用			
	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	A		<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル情報化社会が急速に進んでいる昨今、数値目標達成は、他の取組項目より比較的容易でなかったかとも思われる。(下野委員) ・たけまるモニター・どこでも講座をHPで初め知りました。PCを使わない人も多いと思う。自治会などにもアピールしたらどうか。(一柳委員)
評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・たけまるモニター登録者数、ツイッターフォロワー数の増加。(下野委員) 		
今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定との関係において、ネーミングライツのプラス面(金銭的効果)とマイナス面(生駒市民の意識への影響等)を検証することが必要である。(森委員長) ・たけまるモニターについては、登録者数だけではなく、登録者の中で実際にアンケートに回答した人の割合も見る必要があると思う。どこでも講座については、概ね好評という漠然とした表現をしているが、今後の取り組みとして改善点等はないのか。(藤堂委員) ・人口の4分の1を占めんする高齢者(スマホ、パソコン等に弱いと思われる)に特化した情報共有の方法も考えていただきたい。(下野委員) 		

2 自治基本条例による協働の取組の推進

(3) 市民自治協議会の設立拡大と運営支援【重点】

	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	D		<ul style="list-style-type: none"> ・前期の評価もDで、今回もDであるというほどに問題があるのかももう少し明確に分析して今後の取り組みを検討する必要があるのではないかと。(藤堂委員) ・市民自治協議会の設立について、いくつかの自治会が集まって一つの市民自治協議会を設立するという考えが基本になっていると思いますが、最近の自治会の状況、特に私が住んでいる自治会の現状(高齢化、自治会長を抽選で選出など)を考えると、自治会によって発言力などが異なるために、自治協議会のなかで各自治会の利益が平等に考慮されるのは難しいと感じます。この項目の達成状況を考える前に、自治会の仕組みを見直す必要があるのではないのでしょうか。(谷中委員) ・既存の自治連合会と市民自治協議会との関係・差異は？(一柳委員)
評価できる点			
今後の取組課題等			<ul style="list-style-type: none"> ・「行政主導で設立するものでない」という原則論が実態に合っているのかどうかを再検証すべきである。(森委員長) ・行政主導ではなく、地域主体で進めると言っても、地域に任せるだけでは市民自治協議会の設立は困難。重点項目であるという認識であれば、現在の担当課だけではなく、全庁的な取り組みとして地域に寄り添って支援していく必要があると思う。(藤堂委員) ・既存の自治会との相違、役割分担等が分かりにくいのではないのでしょうか。広報紙で特集をくまればどうか。(下野委員)

(4) 市民、NPOなど協働のパートナーへの支援【重点】

	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	B		
評価できる点			<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動推進センターにおける市民協働が目標数を達成している。(森委員長) ・花とみどりの楽校受講生の100%が修了したこと。(下野委員)
今後の取組課題等			<ul style="list-style-type: none"> ・協働の内容についての評価があってもよい。(森委員長) ・マイサポいこまの登録団体数を増加させるための今後の取り組みとして、制度の周知に関するものが記載されているが、登録団体数が伸びない原因が広報不足だけなのか他に原因があるのか考えて今後の取り組みを実施する必要がある。(藤堂委員)

(5) 市民政策提案制度の効果的な運用

	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	E		<ul style="list-style-type: none"> ・市民が具体的な政策を提案する制度の存在自体、一般に知られていないと思う。(下野委員)
評価できる点			
今後の取組課題等			<ul style="list-style-type: none"> ・やり方に工夫が求められるのではないかと。(森委員長) ・市民からの政策提案に対して門戸を開いておくことは意義があるが、現状から見て、目標値として提案件数を設定する必要があるのか疑問がある。今後は、例えば、政策について何かアイデアがある人に集まってもらって、市職員とワークショップ形式で話し合い、可能性のあるアイデアを協働で育てていけるようなシステムも平行して考えることもできるのではないかと。(藤堂委員) ・一般市民にとって政策を具体的に提案することの困難さもあるかと思いますが、本制度の周知ならびに提案への呼びかけとして、過去に提案があった2件について、その提案内容と採用に至らなかった理由等を広報紙などに掲載されてはどうか。本市は高学歴者の比率が高いと資料にありました。政策とまではいかなくても、アイデアをお持ちの方ならあられると思います。(下野委員)

H26年度 行政改革大綱後期行動計画 取組状況評価 各委員意見

II 経営的視点に基づいた効率的な行政サービスの提供			
1 事務事業の継続的な見直し			
(6) 総合計画に基づく施策・事業の進行管理【重点】			
	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	B		
評価できる点	・予定どおり進められている。(森委員長)		
今後の取組課題等			
2 民間活用の推進			
(7) 民間委託の範囲の拡充など民間活力のさらなる活用【重点】			
	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	B	C (下野委員)	・本年度の取組内容に「民間委託による効果等の検証」があがっているが、効果等を検証する仕組みづくりが検討された形跡がないため、予定どおりの成果が得られたとは認められないのではないか。(下野委員)
評価できる点			
今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・委託等の財政効果とサービス効果の検証が必要である。(森委員長) ・民間への業務委託についての項目であるので、取り組み状況に記載されている「竜田川浄化センターの廃止を検討」とは、管理運営機能を効率化するための当該施設における業務の見直しという意味か？表記からは、浄化施設そのものの廃止とも読める。(藤堂委員) ・民間の活用はブームのようですが、最終的な監督責任は市にあると思います。そこで懸念されるのは監督できる人材が市の職員にいますか？ということ。それらが適正に運営されているという事柄が記載されていません。大事なことは民間活用ではなく「適正に運用している」ということではないでしょうか。(塚原委員) ・市民課の窓口では、一部ですでに業務委託が始まっているようですが、守秘義務について、どの程度徹底されているのでしょうか。個人情報情報は慎重に扱わなければならないと教えるだけではなく、公務員が憲法尊重擁護義務に関して誓約書を提出するのと同じように、職務上知り得た情報は外部に漏らさないとの誓約書を委託先の従業員に提出してもらいたいというのが市民感覚です。(下野委員) 		

(8) 指定管理者制度の効果的運用

	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	C		
評価できる点	・全指定管理施設の運営状況について、モニタリングが実施されたことは評価できる。(藤堂委員)		
今後の取組課題等	・指定管理制度によって市民満足度の向上につながっているのかどうかの検証が必要である。(森委員長) ・指定管理施設の運営状況について、モニタリング結果において、市が改善を指摘したものについてのフォローをお願いしたい。喫茶開設後の状況の推移を見守るため、「ふるーらむ」の指定管理の検討を先延ばししたとのことであるが、具体的にどの程度の期間先延ばしするのか。(藤堂委員) ・モニタリングは評価できると思います。あえて苦言を呈するならば、モニタリングを積極的に利用する少数意見ともいえます。(塚原委員)		

3 行政資源の有効活用・効率的な管理運営

(9) 既存公共施設等の活用と長寿命化に向けた中長期的な計画策定【重点】

	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	B	C (下野委員)	・数値目標の達成率は100%だが、取組状況がB評価50%、C評価50%では総合評価Bのレベルに達していない(予算不足が原因とは思いますが)。また、取組内容の「点検に基づく補修工事等」が実施された形跡がない。よって予定どおりの成果が得られたとは認められない。(下野委員) ・公共施設の整備点検は災害時後悔しないよう予算は十分確保を。(一柳委員)
評価できる点	・カルテの作成が完了している。(森委員長)		
今後の取組課題等	・具体的な中長期修繕計画等が策定されていなければ、早急に対応すべきである。(森委員長) ・今後に向けて必要かつ重要な事業であるので、ほぼ予定通り実施されていることは評価できるが、構造物・法面の点検が予算不足で先延ばしになった件については、予定通り実施できるよう柔軟に対応できなかったのか。(藤堂委員)		

(10) 広域連携を活用した事業等による市民サービスの向上【重点】

	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	B		・奈良市との消防本部通信指令センターの共同運用について、「共同運用」というのが具体的にどういったものかわかりませんが、生駒市に於けるコスト削減が大きな目的となっていて、生駒市の通信指令センターが消滅して、奈良市の通信指令センターが両市の通信指令を一元管理することになるのでしょうか。もしそうなら、生駒市の大切な機能を他市にあずけてしまうという点で、少し不安をおぼえます。災害対応対策の点から見て、「広域的」ということに重きを置けば共同運用に意味があるかもしれませんが、災害時の自主独立性を考えると共同運用は弱点になるのではないのでしょうか。(谷中委員)
評価できる点	・平群町との公共施設等の利用にかかる連携協定の締結は、いまの自治体をめぐる流れにおいて重要である。(森委員長) ・広域連携・協力は重要(一柳委員)		
今後の取組課題等	・他にも連携協約等の締結を追求するべきである。(森委員長)		

4 環境に配慮した施策・事業の推進

(11) 環境マネジメントシステムの推進による公共施設の省エネルギー化【重点】

	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	C	B (一柳委員)	
評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・着実に実施されている。(森委員長) ・環境マネジメントシステムを推進し、公共施設における様々な省エネルギー化を実施していることは評価できる。(藤堂委員) ・教育施設、公共施設の省エネルギー化(一柳委員) 		
今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯、街路灯の総点検というタイトルで、26年度の目標水準が850灯、達成状況が1104灯であるが、総点検であるのに、目標水準が対象総数ではなかったのか？実際に調査対象となる防犯灯、街路灯の総数も記載するべきではないか。(藤堂委員) 		

(12) ごみ半減プランの推進【重点】

	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	A		<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ半減という最終目標から考えると、B。家庭系ごみ有料化導入への準備については、リレーセンターへの持ち込み急増で混乱が生じたことや、紙おむつ等への対応等、問題もあった。(藤堂委員) ・家庭ごみの有料制導入について、当初、私はこの制度に批判的でしたが、始まって数ヶ月がたち、成功だったと感じています。個人的には、ディスプレイの設置よりも、利便性(高齢者がネットを扱うのは大変です)を考え、カラスよけのかご形ネット(通常のネットではない)に対する補助の基準を緩和し、その利用を推進してもらえたらと思います。(谷中委員)
評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年4月からの家庭系ごみ有料化が大きな混乱なく開始でき、市民の意識が大きく変わったことは評価できる。(藤堂委員) ・生活実感としても燃える有料ごみの量が大幅に減っているのが感じられる。(下野委員) 		
今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルセンターの整備方針を早急に確定すべきである。(森委員長) ・取組に対しては評価しているが、乳児や介護をとされる減量化が難しい家庭もあるのが事実。一定量は無償など配慮は必要だと思います。ごみ半減の意義などの広報が不足していると思います。(塚原委員) 		

H26年度 行政改革大綱後期行動計画 取組状況評価 各委員意見

Ⅲ 自立した自治体への変革			
1 財政規律を確保するための財政指標の目標値の設定			
(13) 財政計画に基づく経常収支比率等の指標管理【重点】			
	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	B		
評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・財政運営の規律がかなり機能している。(森委員長) ・財政の健全運営の維持については、継続した取り組みがなされ、成果が上がっている。(藤堂委員) 		
今後の取組課題等			
2 財源確保の取組			
(14) 中長期的な税財源等の安定確保に向けた重点投資【重点】			
	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	C		<ul style="list-style-type: none"> ・北小中一貫校・高山認定子ども園は該当する子供を持つ親はどうなるのか不安だと思う。どうなっているのだろうか？(一柳委員)
評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・南子ども園はこのまま進めて欲しい。(一柳委員) 		
今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て支援事業が定住促進につながっているのかどうかの検証が必要である。(森委員長) ・子育て支援については、幼稚園に比べて保育所のニーズが増加していること等、現状に即した支援を今後も実施していただきたい。(藤堂委員) ・北小中一貫校・高山認定子ども園の開設を早く進める。(一柳委員) 		

(15) 市税の収納対策の推進			
	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	B		
評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・徴収率の目標がクリアされている。(森委員長) ・前期に比べて数値的に徴収率が上がっているのは、継続した取り組みの結果だと評価できる。(藤堂委員) ・前年度達成状況91.92%より向上している。(下野委員) 		
今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・完了した滞納者のデータ化も活用して今後も継続した取り組みを期待する。(藤堂委員) ・数値目標(平成26年度～平成28年度)が、平成24年度実績値のまま維持されているのは、収納対策の推進とは言い難いのではないか。(下野委員) 		

3 職員定数・給与の適正な管理

(16) 行政需要を踏まえた職員数の適正管理【重点】			
	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	B		
評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・着実に実施されている。(森委員長) 		
今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・各課の仕事内容、仕事量に応じた能力のある職員数が確保されているかどうかについても検証し、必要な職場には増員する等、職員数削減による弊害が出ないようお願いしたい。(藤堂委員) 		

(17) 人件費の抑制と能力・実績を重視した給与制度の構築

	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	B		<ul style="list-style-type: none"> ・(19)「人事評価制度の効果的な運用」と連動した勤勉手当への反映の継続に関する取組状況を知りたい。(下野委員)
評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・着実に実施されている。(森委員長) 		
今後の取組課題等			

4 適正な人事管理と職員の能力向上

(18)能力と意欲に応じた柔軟な任用制度の構築【重点】

	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	B		
評価できる点	・着実に実施されている。(森委員長)		
今後の取組課題等	・能力と意欲の向上につながっているのかどうかについての検証が必要かもしれない。(森委員長)		

(19)人事評価制度の効果的な運用

	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	B		
評価できる点			
今後の取組課題等	・実施内容と達成状況がかみ合っているのかがわかりにくい。(森委員長)		

(20)職員の資質向上・能力開発の推進

	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	B		
評価できる点	・全体としては着実に進められている。(森委員長)		
今後の取組課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・先進都市の調査がどのように生駒市政に活用されているのかを検証すべきである。(森委員長) ・議会事務局の取り組み評価が2つともAであるが、達成状況が、研修会に参加と、先進都市訪問との記載のみで、それによってスキルが向上したのか等の成果が不明で、Aとの自己評価は甘すぎる。(藤堂委員) 		

5 機能的で分かりやすい組織・機構の構築

(21) 重点施策を効果的に推進できる組織機構の構築と柔軟な運営【重点】

	事務局案	修正案	意見
総合評価 (H26年度末時点)	C		・数値目標達成状況の結果が前期の調査結果よりポイントが下がっているのはなぜか。(藤堂委員)
評価できる点	・全体としては着実に進められている。(森委員長)		
今後の取組課題等	・PTなど横断的組織を積極的に活用していることは評価できるが、通常の業務においても、縦割り組織から柔軟な横断的対応ができる組織への変革を期待する。(藤堂委員)		